

## 第2次文化芸術振興計画

### 理念

個性豊かな新しい千葉文化の創造

### 基本目標

「個性」、「世界性」、「協働」

マスタープラン

### 戦略的視点

「市民主体」、「こども若者」

### 事業展開にあたっての基本姿勢

文化芸術振興施策の軸を鑑賞型から活動・行動型へ

### 目指すべき姿

あらゆる世代の市民が、文化による自己表現の場に触れ、共感を生み、つながり、文化を創り出す力にあふれたまち

### 基本施策

- 文化芸術に親しむ市民の視野を「広げる」
  - 多彩な文化芸術イベントの開催
  - 参加・体験型活動の推進
- 文化を創造する人材を「育てる」
  - 文化芸術活動を楽しむ市民への支援
  - 芸術家の発掘と育成
  - 文化芸術活動を支える人材の育成
- 文化芸術を育む場を「支える」
  - 文化芸術活動の場の充実
  - 活動しやすい環境の整備
  - 伝統文化の継承・発展
- 千葉文化の担い手を「つなぐ」
  - 情報の効果的な収集・発信
  - 多様な協働・連携の促進
- 文化芸術によって千葉の魅力を「活かす」
  - 魅力ある資源の活用
  - 魅力ある人材の活用

## 各種進捗

### 市民意識調査作成時のまとめ

#### 【国基本法、市計画から加味する要素】

- ①文化芸術に触れる体験学習等の文化芸術活動について
- ②文化芸術による市のブランド形成への貢献について
- ③文化芸術の社会的経済的価値について
- ④文化芸術による社会包摂について
- ⑤文化財等の継承と鑑賞機会の確保と効果的な投資と戦略的活用について
- ⑥観光、まちづくりなど、その他の各関連分野との連携について

#### 【第2次実施計画の現状の課題の把握】

- ⑦気軽に文化芸術を楽しむことができる身近な催し
- ⑧文化芸術体験の共有を基にした交流の場づくり
- ⑨必要な人に必要なものを効率よく伝える広報の充実
- ⑩歴史の中の文化的要素、地域資源の発掘・活用
- ⑪子ども・若者の文化芸術体験の充実

### 第2次振興計画の評価（振興会議での総括）

- ・新型コロナウイルスの感染拡大が文化芸術に対して活動の制限など大きな影響を与えた。一方でオンライン化など、新たな形での取り組みも進んだ。効果のあった取り組みについては、引き続き継続してもらいたい。
- ・デジタル化やSNSの普及が進んでおり、それらを活用した戦略的な広報が重要になる。プログラムの充実とあわせて取り組んでほしい。

### 市民意識調査結果

### 有識者意見聴取

### 芸術祭基本構想

## 次期文化芸術振興計画

資料  
1-1

### 理念

文化芸術でつながり  
文化芸術で創造する千葉市

### 基本目標

「個性」、「育成」、「連携」

### 戦略的視点

「市民主体」、「子ども若者」、「地域活性」

### 事業展開にあたっての基本姿勢

多様な文化芸術の発展と文化芸術を活用したまちの活性化

### 基本施策

- 多様な鑑賞・体験機会の提供
  - (1) 鑑賞・体験しやすい文化芸術イベントの開催
  - (2) 効果的・戦略的な広報活動
- 市民の文化芸術活動への支援
  - (1) 主体的な文化芸術活動機会の充実
  - (2) 文化芸術活動を支える人材の育成
- 次世代アーティストが育つ環境づくり
  - (1) 次世代を担うアーティストの発掘・支援
  - (2) 市ゆかりのアーティストの支援・活用
- 文化芸術による新たな価値の創造
  - (1) 地域への関心の醸成や地域コミュニティの活性化
  - (2) 多様な分野との連携による地域活性化
- 地域資源活用による市の魅力向上
  - (1) 千葉市の個性を感じられる文化芸術の推進・創造
  - (2) 文化財を活用した文化芸術の推進